

令和4年度
地域まちづくり活動助成金
活動成果概要



令和5年3月
東大阪市 市民生活部
地域活動支援室

目次

『地域まちづくり活動助成金』の概要	1
交 付 事 業 一 覧	2
活 動 成 果 概 要	3-28

『地域まちづくり活動助成金』の概要

地域まちづくり活動助成金制度は、東大阪市の地域資源の活用や地域課題の解決に向けたまちづくり活動の活性化を図り、わがまちとして愛着と誇りの持てる市民主体の魅力ある地域づくりを目的としています。

スタート支援部門	立ち上げて5年未満の団体が、活動基盤を整えたり、新たな事業を始めたりするのを支援する助成金。
事業チャレンジ部門	団体が、将来に亘って自立・継続して活動するための事業への助成金。

○選考方法

スタート支援部門	書類と面接
事業チャレンジ部門	書類と公開プレゼンテーション

いずれも「東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会」において採択団体や助成金額などを審査します。

○審査基準

- ・事業の公益性 ・事業の実現性 ・事業の創意工夫・先駆性
- ・事業の発展性 ・組織の健全性 ・他団体、企業、行政機関などの協働性

令和4年度東大阪市地域まちづくり活動助成金審査会委員

令和4年度は、下記の審査委員により審査を行いました。

	氏名	選出団体及び役職
会長	吉田 忠彦	近畿大学 経営学部 教授
副会長	有田 典代	国際文化交流協会 事務局長
	田中 晃代	近畿大学 総合社会学部 教授
	藤江 徹	あおぞら財団（公益財団法人公害地域再生センター）事務局長
	太田 恭子	東大阪市 市民生活部 地域活動支援室長

令和4年度 交付事業一覧

	申請区分	団体名	申請事業名	ページ 番号
1	スタート支援	健康ハッピーサロン くさか	(孔舎衛公民分館を活動の拠点とし、三期(導入期・成長期・成熟期)で地動の活性化に取り組む) 一人でも、三世代でも、共に楽しめるストレッチ教室をめざして 健康ハッピーサロン くさか	3
2	スタート支援	サロンとまり木	サロンとまり木「健脳教室」	5
3	スタート支援	やどり木	孤育てを防ぐために0歳～15歳までの子育てを繋ぐ	7
4	スタート支援	特定非営利活動法人音頭座がらく	新しい形の祭り・盆踊りイベント提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～	9
5	スタート支援	Na-no-Hana.	菜の花フェス～ままのわを広げよう～	11
6	スタート支援	タグラグビーKRASH!	小学生対象のタグラグビー活動	13
7	スタート支援	特定非営利活動法人多言語・多文化サポートICHI	外国人住民の声を聞いて、私が／私もできる支援を考えよう	15
8	スタート支援	NPO法人リード	ラグビーのまちで、幼児～大人がラグビーを楽しむイベント会	17
9	スタート支援	石切のわ	旧石切一番館改修プロジェクト	19
10	スタート支援	特定非営利活動法人フリースペースかんの	～学校に行きにくい児童生徒へいろいろな機会を与える～ はじめの一歩!	21
11	事業チャレンジ	東大阪中小企業会長倶楽部	夢プロジェクトの推進 ～夢ワークショップの実施と夢大賞の表彰～	23
12	事業チャレンジ	ハニカム東大阪	親と子どもをサポートする地域の子育てコミュニティづくり	25
13	事業チャレンジ	社会資源開発研究会	若年性認知症や高次脳機能障害の当事者とその家族、ヤングケアラーを支える新たな地域支援ネットワーク構築事業	27

令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	一人でも、三世代でも、共に楽しめるストレッチ教室をめざして 健康ハッピーサロン くさか		
団体名	健康ハッピーサロン くさか		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	70,000円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	地域の課題を他人ごとにしなない町づくりを目指して、以下の取り組みによって、「若い世代の公民分館離れ」という地域課題の解決に3年間の歳月をかけて取り組みたい。 ア) コロナ禍によって、世代間交流のイベントがなくなった。 イ) 公民分館利用者が減少。一方で利用者の高齢化が進んでいる。 ウ) 地域課題に取り組む現役世代の掘り起こしができていない。
	内容	①誰でも参加できる低額（200円）な参加費設定 ②誰でも楽しめて、続けたい企画 ③中高年に人気のヨガや、健康講和、SNSを活用し、幅広い世代に本教室の情報（広報）等を発信 を通して、地域課題の解決に寄与すべく努めている。

活動 実績	<p>本事業は令和2年コロナ禍で公民分館利用者数が激減（65歳以上利用者率が93%と激増）したという課題を打開すべく、令和4年1月に立ち上げ、検討会議を毎月開催（現延べ15回）している。主議案は、「若い層の方に『健康ハッピーサロンくさか』に関心を持って頂くには」である。予算の問題から10月から開催し、その後の実績は次のとおりである。</p> <p>10月2日（第1回）は10名、50代参加者が2名であった。11月3日（第2回）は6名で65歳以下は1名。ここで、公民分館文化祭でヨガ体操の実演と広報を行った結果、12月4日（第3回）では参加者16名で、はじめて40代参加者を1名得ることができた。1月8日は残念ながら11名と減少したため、同月18日公民分館運営委員会主催の勉強会で、当活動の広報をさせていただいた。2月5日は17名のうち3名が65歳以下得た。3月5日には19名の参加者のうち6名が65歳以下であった。3人に1人が65歳以下と若い層が増えた。またまだ定着とまではいかないが、若い層のニーズに合ったサロンを展開することで地域活動の核である公民分館の課題を解決することで、5年後、10年後でも公民分館が地域住民の憩いの場であり続けられるよう、活動を継続したいと考える。</p>
----------	---

目 標	<申請時> 地域課題を他人ごとにしなない町づくりを目指し、「若い世代の公民分館離れ」に取り組む。	<事業実施後> 地域課題を連合会長以下役員の方に周知することができ、徐々にではあるが、参加者層を広げつつある。
事 業 の 成 果 ・ 効 果	コロナ禍で一層進んだ公民分館利用者層の高齢化の課題に取り組んだ1年間であった。その成果として、参加者数は定員19名にまで達した。また僅かではあるが、65歳以下参加者が2名から6名と増やすことが出来た。 10月、2月、3月に実施したアンケート結果（32名）から、ヨガについては100%方が「満足」との回答であったが、健康講座については「満足・やや満足」で80%、無回答13%、インスタに挑戦では、67%が「満足・やや満足」であったが、「どちらでもない」13%無回答20%であった。ヨガ体操は継続、健康講座とインスタに挑戦は年代に合わせたものが出るか、が課題だと感じている。	
今 後 の 事 業 展 開	今年度は実質活動期間が半年しかなく、思うような活動はできなかったが、孔舎衛校区自治連合会等の地域役員の皆さんに公民分館が抱える課題を周知の足係をつかむことが出来た。 次年度からは、この活動を継続しつつ、子ども会はじめ、現役世代が多い青年団や女性部、また一層小中学校にも出向き、重層的な支援を得られるように努めていく所存です。 そして、5年後、10年後には、以前のような公民分館利用者のうち65歳以下の方が20%近くになり、公民分館を核とした地域活動が活発になるように、自治連合会等の皆様と連携を図っていきたい。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。
 (ヨガ体操)



SNSに挑戦



健康講和

令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	サロンとまり木「健脳教室」		
団体名	サロンとまり木		
助成区分	スタート部門	助成金額	168,000

事業の目的・内容	目的	<p>超高齢化社会において、一人暮らしや地域との繋がりの薄い高齢者の多い現状がある。一人一人が地域の方々との絆を深め安心して生活できる場所となる必要性を感じている。健脳教室を通して、絆を深め合い体力づくりを通して介護予防、認知症予防につなげたい。</p> <p>活動が継続できるようにステップアップしながら、健康寿命を延ばすまちづくりをしたい。</p>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ コグニラダー、体操、健脳エクササイズ、気功、ヨガなどで体力づくりをする ・ 懐かしい思い出の歌をみんなで歌い、心を豊かにする ・ 公文「頑張る脳」教室で脳の活性化をする ・ 高齢者の食生活や健康習慣について学ぶ（フレイル予防についての学習） ・ 参加者の交流を深め、地域の生活情報を交換しながら参加者の憩いの場とする

活動実績	<p>◎場所 布施駅前リージョンセンター（多目的ホール、大中会議室、調理室）</p> <p>・ 毎月第3水曜日午前10時から11時30分 ・ 4月～3月まで年12回</p> <p>◎実施済み活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月20日：参加者50名<コグニラダー、健脳エクササイズ、歌> ・ 5月18日：参加者43名<コグニラダー、肩こり予防体操、歌> ・ 6月15日：参加者41名<コグニラダー、気功、歌> ・ 7月20日：参加者42名<公文「頑張る脳」教室、気功、歌> ・ 8月17日：参加者35名<コグニラダー、体操・エクササイズ、歌> ・ 9月21日：参加者42名<コグニラダー、ヨガ、足ツボ療法、歌> ・ 10月19日：参加者47名<コグニラダー、食生活と栄養、歌> ・ 11月16日：参加者42名<公文「頑張る脳」教室、フレイル予防講座、測定、歌> ・ 12月21日：参加者44名<フレイル予防講座、測定、クリスマスお楽しみ会、歌> ・ 1月18日：参加者42名<ヨガ、足つぼ療法、どじょう捌き鑑賞、歌> ・ 2月15日：参加者45名<エクササイズ、気功、歌> <p>◎実施予定活動 3月15日（タオル体操、お楽しみ会、歌）参加者48名</p>
------	---

目 標	<申請時> 毎月 42 名 42 名×12 ヶ月=504 名	<事業実施後> 12ヶ月で、521名
事業 の 成 果 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・広い会場が利用できたので、計画書通り 12 回を無事実施できた。 ・継続して定期的の実施できたので、徐々に参加者の輪が定着して、楽しみに参加出来るようになり、温かい雰囲気でも活動出来た。 ・高齢者の体力づくりが出来て、出会いの場、交流の場、憩いの場となり絆の深まりを感じた。 ・参加者が楽しいと、新たな人を誘い参加されるので、欠席者があっても毎月の参加人数の目標はほぼ達成できた。 ・参加費や協賛金を頂いたので、歌集やカレンダーの作成をして、参加者に配布するなど有効活用が出来た。 ・歌うことや、公文教室で体力づくりだけでなく心や脳の活性化をして心身の若返りが出来た。 	
今 後 の 事 業 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・会場費や講師料のかからない方法で、地域の公民館を利用して引き続き定期的に活動します。 ・参加費、協賛金を集め、これまでのコグニラダーや歌うことに加えて、新たに狭い会場でも可能なビデオ鑑賞や、いすに座って出来る、エクササイズ等の健脳教室を考えたい。 ・今年度の参加者に、すでにカレンダーで日程を知らせているので、高齢者の要望に合わせて楽しみに参加できる集いの場にしたい。 ・スタッフが高齢で、やる気に体力が伴わなくなります、学生や若い方の協力を得たいと思う。 ・自治会、福祉委員会、保健所、レーベンスポルトの協力を得ながら、進めていきたい。 	

*内容がわかる写真を添付してください。

令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	孤育てを防ぐために0歳～15歳までの子育てを繋ぐ		
団体名	やどり木		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の孤独な子育てを防ぐ ・ 子ども同士、親同士の繋がりをつくる ・ 子育てに悩む保護者の話を聞き、必要があれば専門者へ繋ぐ ・ 交流を増やすことで情報の共有をおこなう ・ 不要になった育児アイテムを必要な人に届け人と物を繋ぐ ・ 地域に信頼できる顔見知り作り（託児し合える関係へ）
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未就学児の交流（0歳～6歳ママのおしゃべり会や公園遊び） 2. 小中学生保護者の交流会（小中学生ママのおしゃべり会） 3. 足育、性教育、食育、金融教育の講座の実施 4. ハロウィン、クリスマスなどのイベントや地域交流の実施 5. リユース会の実施

活動 実績 績	<p>今年度は、未就学児があまり集まらなかったため活動を継続しつつ、後半から小中学生保護者や未就学児の集まりを開放日として設けました。全36回（月平均3回）開催しました。項目（1～5）を72回開催（月平均6回）し総数776名が参加しました。</p> <p>夏休みと冬休みに、「こどもの居場所づくり」として、宿題や工作をしたり、異年齢で遊んだりしました。12回開催し、参加総数は168名でした。新しい育児講座として、親子参加型のキッズマネーを開催しました。実際にお店屋さんになり商品を売り、最後にはお給料として金券を渡しました。その金券で、協賛の寿々屋にて、実際のお買い物体験をしました。</p> <p>リユース会については、イベント時をメインに開催し、不要になったアイテムを、必要な方へお渡しし、人と物と街の循環の仕組みを作りました。また、その際に商品を気に入ってもらった場合、募金を募り、今後の活動資金にします。</p> <p>今年度は東地区の参加が7割を占め、地域に密着型の活動ができました</p>
---------------	---

<p>目標</p>	<p>＜申請時＞</p> <p>①毎月活動を4回以上実施</p> <p>②公式ラインの登録数200人以上</p>	<p>＜事業実施後＞</p> <p>①月平均6回で達成</p> <p>②3/5時点で208人で達成</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<p>参加申し込みを基本的に公式LINEからとしているため、登録者が目標の200名を達成しました（インスタのフォロワーは990名に到達）。毎月の活動案内を、LINEから発信することで、情報収集が苦手な方に対しても、受動的に情報が届くようにできました。それと並行し、紙媒体での発信も続けるため、今年度は保健センター3箇所と福祉事務所1箇所が新たに増え、行政施設10箇所と子育て支援センター3箇所の17箇所にチラシの設置を依頼しました。</p> <p>活動を毎月ずっと続けることで、定期的に参加してくれる方が増えてきました。決して、大きなイベントが多いわけではありませんが、“いつでも行ける”、“やどり木に行けば相談できる”という認識が徐々に広まりつつあり、継続することでの存在意義を強く感じています。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>今後も活動を定期的に行うことで、参加者同士の顔見知りも増え、孤独な子育て防ぎ、また地域間での子育てにつなげていきたいと思っています。そのため、“こどもの居場所づくり”を実施することで、学校と家庭以外の第3の場所となり、親も子も安心できる地域づくりを目指しています。</p> <p>今後は、放課後等デイサービスでの食育講座も計画しており、どんな子どもたちでも分け隔てなく参加できる環境づくりを考えています。学生のボランティア団体との連携も少しずつおこなっており、さまざまな方が関われる団体へしていきたいです。（現時点でイベント等のサポートスタッフが30名程度在籍）</p> <p>引き続き様々な場所に出向き、活動の周知活動を行うと同時に、東地区である瓢箪山商店街とも協力体制が取れるようたらきかけていく予定です。そして、東大阪が子育てのしやすい市になるよう活動していきたいです。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	新しい形の祭り・盆踊り提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～		
団体名	特定非営利活動法人音頭座がらく		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	<p>現代の祭りや盆踊りは各地域の自治会が主催することが多く、各自治会の役員等も高齢化と後継者不足が進み、また、資金（主に寄付金）調達の問題で祭りや盆踊りの開催を断念するところが増えており、地域での人々の交流の場が無くなり伝統文化の衰退が危惧されております。</p> <p>そこで、各自治会の負担の少ない盆踊り提案を行い、地域住民の交流を深める機会の維持・拡大を目指し、地域社会の活性化の一助を担うことを目的とする。</p>
	内容	<p>祭りや盆踊り、各種イベントの企画・構成・施行に関する意見交換会やインターネットによる情報発信を実施すると共に、河内音頭の練習生・研修生の募集と講習会を重ねて次代の担い手となる住民の参加機会を作る。</p> <p>また、地域住民の世代構成に合せた企画と会場準備・設営から運営までをパッケージ化し、その「新しい形の盆踊り提案」イベント開催を行い、インターネットでも中継することにより、来場者以外にも広く訴求する。</p>

活動 実績	<p>【祭りや盆踊り、各種イベントの意見交換会の実施】</p> <p>※ホームページ、各種SNS等で告知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7/2（土）友井地域（御剣神社会議室）：参加人数7名 ・ 9/25（日）中石切地域（だんけ石切会議室）：参加人数6名 <p>【河内音頭講習会の実施】</p> <p>※ホームページ、各種SNS等で告知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/28（日）東大阪市文化創造館音楽スタジオ1：参加人数8名 ・ 10/31（月）大阪府営大東寺川住宅集会所：参加人数10名 ・ 11/6（日）東大阪市文化創造館音楽スタジオ1：参加人数8名 ・ 1/8（日）東大阪市文化創造館音楽スタジオ1：参加人数8名 <p>【新しい形の盆踊り提案イベント「新春」音頭まつり in 東大阪」開催】</p> <p>※インターネットラジオ番組、ホームページ、各種SNS等で告知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1/15（日）東大阪市文化創造館多目的室：入場者数120名 出演：7グループ（延べ36名）
----------	--

目 標	<申請時> こどもから大人までが楽しめ、各自治会の負担が少ない「新しい形の盆踊り提案」を行い、地域住民の交流を深める機会を創出し、日本の祭りや盆踊りに対する社会的関心を高めて地域社会の活性化を図る。	<事業実施後> 大目標に変わりはないが、それに向けて更に細かな課題の掘り起こしと対策が必要であることが顕在化し、その対応（小目標）に取り組む。 ・社会的弱者が参画できる環境モデル構築
事 業 の 成 果 ・ 効 果	祭りや盆踊り、各種イベントの意見交換会の実施による課題確認 ・会場調整、資金集め、会場設営、運営、後片付け、他 河内音頭講習会の実施 ・従来の師弟関係による口伝という形式ではなく、参加条件を極力設けずサークル的な気軽さで参加していただき、ほぼ同じメンバーがリピーターとなり、ステージ出演が実現。 新しい形の盆踊り提案イベント「”新春”音頭まつり in 東大阪」開催によるパッケージ化の具体例訴求。 ・従来の音頭愛好家だけでなく、世代やジャンルをこえた来場者が楽しめる空間と時間の共有を実現。	
今 後 の 事 業 展 開	次年度も引続き【新しい形の祭り・盆踊り提案プロジェクト～地域交流機会の創出と活性化～】をテーマに取組み、「社会的弱者が参画できる環境モデル構築」に向けて、障害をもっているこどもやその家族も準備段階から参加するモデルケースと地域住民の世代構成に合わせた企画と会場準備・設営・から運営までをパッケージ化し、その「新しい形の盆踊り提案イベント」開催を行い、インターネットでも配信することにより、来場者以外にも広く訴求する。	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	菜の花フェス～ままのわを広げよう～		
団体名	Na-no-Hana.		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	20万 円

事業の目的・内容	目的	<p>■2020年から現在まで、コロナの影響で地域イベントが中止or縮小。地域とのつながりが途絶え、子育て世代における孤立感、不安感子育てによるストレスが増加。</p> <p>■特に新しくママになった世帯や、転居してきたばかりの世帯で孤立感を強く感じている。</p> <p>■ひがしおおさか子育て応援アプリは行政からの一方的な情報発信にとどまり、ママ達の交流の機会にはなりづらい。</p>
	内容	<p>10月1日(土)菜の花フェス in 花園中央公園</p> <p>3月23日(木)菜の花フェス in 文化創造館</p> <p>7月・12月ナノハナサークル</p> <p>東大阪公園マップの作成</p>

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ●10月1日(土)菜の花フェス in 花園中央公園 ハンドメイド雑貨やワークショップ、キッチンカーなど 35ブース出店 来場者数：1000名以上 イベント満足度 96% 菜の花フェス初の東大阪市後援イベント ●7月・12月のナノハナサークル#ナノハナ部 両日で15組31名のママ&ベビーが参加 12月はハイハイレースを行うなど、よりベビー向けのイベントを実施 ●東大阪公園マップの作成 インスタグラムにて、東大阪の公園レビューを行っていたものを紙面化を行った 公園近辺の行って楽しい商店も23店舗協賛して頂いた
------	--

目 標	< 申請時 > 10 月(花園中央公園) 来場者数 800 名 3 月(文化創造館) 来場者数 800 名 公式 LINE 登録者数 300 名(現在 181 名)	< 事業実施後 > 10 月来場者 1000 名以上 公式 LINE 登録者 771 名
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で、去年よりもたくさんの企業からの協賛を得ることができた。菜の花フェスを通じて、来場者に協賛品を配ることにより、イベントの満足度も高まり、企業側からは商品を知ってもらい、使っていただけるきっかけになったと、継続して協賛して頂けることが多くなった。 ・公式 LINE の登録者が大幅にアップ。 	
今後の事業展開	<p>東大阪市内で実施される、我々のイベントだけでは、楽しめるイベント情報を毎月配信。登録者は出かけるきっかけとなったと声を頂いた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園マップは、プレママや子育て初心者に向けて作成した。Instagram にて実際に利用しているママたちの口コミを盛り込んだ。 <p>2 年間助成金を受けて、ただのママ達だった私たちが、地元商店・行政・子育て中のママさんとこの 2 年たくさんの人と関わり合うことができた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年よりも協賛企業も増え、助成金システムの理念である「将来を担って自立・継続した活動」が可能と判断し来季の助成金チャレンジはしない決断 ・公園マップを子育て支援センターや保健所など東大阪市内の施設においてもらえるよう活動を広める。 ・プレママや子育てし始めのママが求めるものを今後も更なる形で追い求めていきたい 	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	タグラグビー & 食育事業		
団体名	タグラグビー KRARH!		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	150000 円

事業の目的・内容	目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもたちの健全な心身の育成により、今般、課題となっている不登校、いじめ、体力の低下などの問題の解決に寄与する。 2. 保護者と子どもたちと地域住民そして主催者が一体となった活動により、地域コミュニティの醸成を図る。 3. ラグビーの裾野を広げることにより、ラグビーのまち東大阪の発展とその全国発信に寄与する。
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食育を学び、農業体験や試食会を行い、食べる楽しみや大切さを経験する。年3種類の野菜(玉ねぎ、さつまいも、大根)を育てる 2. 毎月2回の練習や試合等を通じて子どもたちに挨拶等の礼儀作法、チームプレーに必要な助け合い、思いやりの精神等を習得させるとともに、身体の発達及び健康の増進を図る。 3. 練習や試合およびミーティング等における地域のボランティアスタッフ、保護者、コーチ及び地域住民との協力により、地域コミュニティの醸成を図る。 4. 会員である子どもたちの増員により、ラグビーのまち東大阪に住み続けられるよう裾野を広げる。

活動実績 【タグラグビー】

- ・ 月2回の練習会 低学年 17:00～・高学年 18:00～
- ・ 5月 体験会開催2回 →10名新規加入
- ・ 6月プログラミング体験(くすは縄手南体育館)
- ・ 8.9月石切東GSと交流会(石切東小学校)
- ・ 10月 4～6年特別練習会
- ・ 11月 4～6年生特別練習会、全国大会予選会出場
- ・ 12月クリスマス会開催(人気番組の「逃走中」を実施)
- (・3月に卒業大会予定)

【食育事業】

- ◆ さつまいも・玉ねぎ・レタス・大根 作付けから収穫までを体験
- ◆ 炊き出しに関してはコロナ対策として、収穫した野菜を持ち帰り、自宅にて調理。完成したものを写真で送ってもらった。

<p>目標</p>	<p><申請時> コーチ、ボランティア 3名増員 新規メンバー10名増員 他チームとの交流会</p>	<p><事業実施後> →1名増員 →14名増員 →石切東GSと交流会開催</p>
<p>事業の成果</p>	<p>【タグラグビー】 ポスターやチラシの配布で、低学年だけでなく高学年の入会が増え、高学年は4月の時点で5名でしたが11名に増え、全国タグラグビー大阪府予選に参加することができました。</p> <p>【食育事業】 ・自分達で育てた野菜を自ら収穫し料理をして食べることで、食の大切さや調理の楽しさを感じてもらえたと思います。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>東大阪全域から募集をかけ、会員数を増やしてよりたくさんの子供達にタグラグビーの楽しさや食の大切さを学んでもらいたいと考えております。</p> <p>方法:SNSや他校のPTAとの交流を深め、食育に関しても子供食堂を行なっている団体とも交流を持ち広めていきたいと思っております。</p>	



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	外国人住民の声を聞いて、私が／私もできる支援を考えよう		
団体名	特定非営利活動法人多言語・多文化サポート ICHI		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200,000 円

事業の目的・内容	目的	昨年度に行った調査結果から見えてきた外国人住民に必要な支援活動を続けながら、より多くの市民と「私が／私もできる支援」を考える機会も設ける。これまでの活動でつながった外国人、日本人住民の力を活用し、発展的、継続的によりよい地域づくりを目指す。
	内容	まず、外国にルーツを持つ人の国の言語や文化に触れられるイベントを実施する。次に実際に求められている支援に対し、できる支援について考える機会をつくるワークショップを実施する。また、講師を招いて外国人住民の言語や文化を深めることを目的とした体験型の活動も行う。

活動実績	<p>1. 多言語・多文化謎解きイベント「なぞとき世界旅行」 ①2022年7月10日(日) 14:00-15:30@東大阪市文化創造館 ②2022年7月30日(土) 14:00-15:30@東大阪みらい日本語学校 ③2023年2月12日(日) 14:00-15:30@東大阪市文化創造館 内容：謎解きゲームを通して多言語と多文化を体験する。そこから、日本に暮らす外国人住民の置かれた現状について知る。 参加者/スタッフ：①22名/13名、②15名/10名、③35名/14名</p> <p>2. お料理ワークショップ 2022年9月10日(土) @東大阪市リージョンセンターくすのきプラザ 内容：前半は、イラン出身の方へサフランライスプディングの作り方とペルシャ語やイランの文化についてお話しいただくように依頼。後半はグループにて「わたしたちができる支援」についてグループディスカッションを行った。 参加者：14名、スタッフ：6名</p> <p>3. 多言語ワークショップ 2023年3月12日(日) 14:00-15:30@東大阪市文化創造館 内容：6か国語の母語話者の方を迎え参加者は外国語を使う体験をする。 またそこから、日本に暮らす日本語非母語話者について体験を通し考える機会とする。 参加者：18名、スタッフ：16名</p>
------	--

目 標	<申請時> 3回の多言語・多文化謎解きイベントで合計 45 名の参加、2 回のワークショップは合計 20 名の参加を目指す。	<事業実施後> 3回の多言語・多文化謎解きイベントで合計 85 名の参加、2 回のワークショップは合計 32 名の参加があった。
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の方が伝えたい、知ってほしいと思う情報発信と、企画段階からの参加を通して活躍の場の提供になった。 ・ワークショップの対話的な活動を通して、私ができること、私もできることを考え、外国人住民の方と関わる活動への参加を考える機会となった。 ・継続的なイベント参加者や、一緒に活動してみたいと感じている参加者が増えた。 ・オンライン型イベントを目指し、会場の一部にてオンラインブースを設け遠隔地、海外に暮らす方とも交流ができた。 	
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加者対象者を拡大するため、時間帯や形式を変えて取り組む。時間帯は、日中ではなく夜間など、形式は、オンライン開催を試みる。 ・現在は団体のスタッフが企画し、外国人住民の協力によりイベントを開催しているが、今後は企画段階から地域住民に携わってもらう工夫を行う。一つの案として、地域の高等学校と連携し高校生が企画、運営に関わる。 	



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

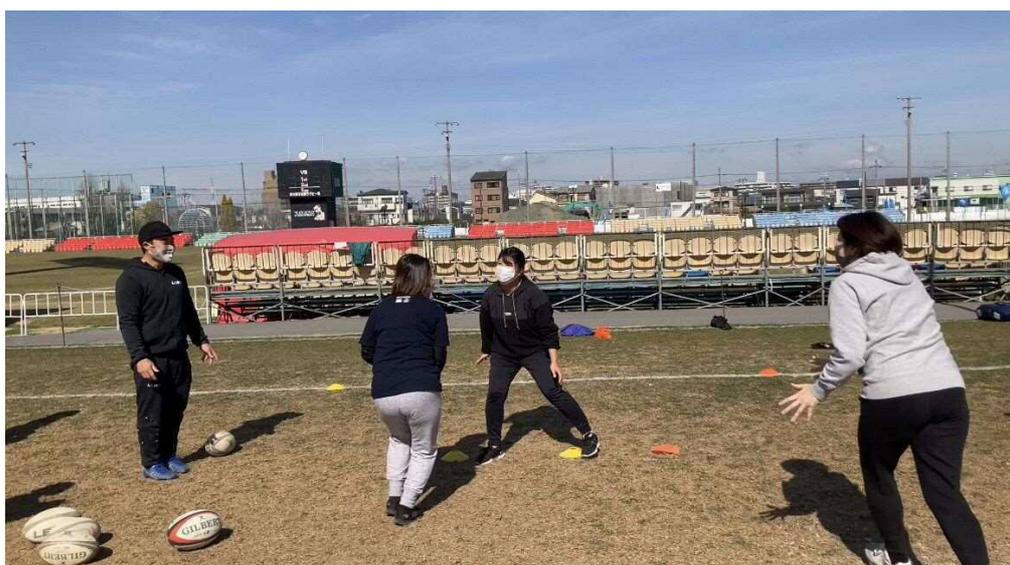
事業名	ラグビーのまちで、幼児～大人がラグビーを楽しむイベント会		
団体名	NPO法人リード		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	200,000 円

事業 の 目的 ・ 内容	目的	<p>東大阪市の市民を中心に、ラグビーフットボール普及に関する事業を行い、スポーツ振興及び子供の健全育成に寄与し、誰もが手軽にスポーツを楽しむことのできる場を築きあげ、青少年の育成、地域スポーツの発展に努めたいと考えております。幼児・小学生・学生や女性など多くの幅広い人々が参加し、スポーツを親しみ、楽しむ、スポーツを軸とした多様なまちづくりの取り組みに貢献したいと考えております。</p>
	内容	<p>「幼児ラグビーを楽しむ会」・「小学生対象初心者向けラグビー会」・「小学生対象経験者向けラグビー教室」・「親子ラグビー教室」など幅広い世代がラグビーを「する」機会を不定期で開催し、ラグビーを楽しみに市民・それ以外の地域の幼児～大人がラグビーを楽しく「する」ことができる新たなラグビーイベントを創ることで、人が集まる活気あふれるまちの一つになれるよう取り組みたいです。</p>

活動 実績	<p>参加者 合計 163 名</p> <p>2022～2023 年：計 6 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児：2 回 19 名 ・ 小学生：6 回 131 名 ・ 親子ラグビー教室：1 回 13 名
----------	--

目 標	<p><申請時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児：各 10 名～15 名 ・ 小学生：各 10～30 名 ・ 親子ラグビー教室：各 15 名 	<p><事業実施後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児：2 回 19 名 ・ 小学生：6 回 131 名 ・ 親子ラグビー教：1 回 13 名
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>ラグビーを「する」窓口を広く、ラグビーを「する」ハードルを低くすることで多くの人々が参加しやすい機会となり、活気あふれる賑やかな魅力あるラグビーのまちに貢献できたのではないかと考えております。幼児や小学生向けのラグビー教室では、一般の東大阪市民・それ以外の地域の子ども達が多くご参加頂けて、ラグビーを通して「交流」することができる機会になれたと感じております。また親子ラグビー教室では、幅広い世代が参加できる新しいラグビーの「する」機会にもなりました。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>東大阪市中で、市民がラグビーを「する」機会を各世代に提供することで、ラグビーを「する」ことの足場掛けになれたらと考えております。この事業によってラグビーを「する」ことへの興味を多くの人々に感じてもらいたいです。そして、この機会によってラグビーに魅力を感じ我々が開催している放課後ラグビー教室への参加にも繋がることで今後自立、継続的に本助成事業の終了後も、この事業を活動できるようになりたいと考えています。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	地域交流拠点 ひらくきちプロジェクト		
団体名	石切のわ		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	200000 円

事業の目的・内容	目的	石切地域は急な坂に位置しており、参拝客の高齢化や空き家、空き店舗が増えてきており、商店街の後継者についても不足していることが現状である。この場所で地域の方々によるイベント、ワークショップを行うことで自己実現の場となり、地域内での交流を促し、石切地区への愛着を醸成することで商店街の活性化・街の担い手の創出につながる。
	内容	これまで築いてきたコミュニティを活用し、地域住民を巻き込みながら改修を行う。また空き家の利活用について検討を進めるワークショップを商店街店主・地域の方と行い、実際に企画された案を実行していく場所として利用することで、地域との関係性を築き、主体的に関わるきっかけを作る。 地域の居場所として認識していただくために、地域で活動されている方に使っていただけるようなイベントを継続的に行う。

活動実績	<p>2022年8月30日地域参加型ワークショップ第一弾屋台製作</p> <p>2022年10月22日,23日地域参加型ワークショップ第二弾壁面塗装</p> <p>2022年10月29日地域参加型ワークショップ第三弾ペンダントライト</p> <p>2022年11月25日建物装花ワークショップ</p> <p>2022年11月27日地域交流拠点ひらくきちオープニングイベント開催</p> <p>2022年12月25日ひらくきちのクリスマスマーケット開催</p> <p>2023年3月5日ひらくきちのきちびらき&むすんでひらく文化祭開催</p>
------	--

<p>目標</p>	<p>＜申請時＞ 今年度までにワークショップを3回開催 オープニングイベントにて地域で活動されている方10組に使っていただく 来年4月に貸しスペースとして運営を開始し、月3割稼働を目指す</p>	<p>＜事業実施後＞ ワークショップ計4回開催 オープニングイベントでは地域活動者計12組の方に利用 イベントとして3回地域に開くことができた</p>
<p>事業の成果・効果</p>	<p>地域住民の方と建物を作る段階から一緒に関わっていただくことで、ワークショップに参加した子どもたちの中には、イベント時以外も覗いてくれ、声をかけてくれるなど、場所に愛着を持っていただくことが出来たと感じる。またワークショップに参加してくださった方が、イベントにて出店者として関わっていただくなど、街への関わり方の選択肢を増やすことが出来る場所としても機能している。 これらの活動を通して、居場所を一から作ることは地域住民や子どもたちにとって街に対しての関心が広がり、欲しい場所・まちは自分たちで作れるということが共有されたと感じる。</p>	
<p>今後の事業展開</p>	<p>イベントの中で発見した改善点や需要も地域住民とともに解決し、使われなくなった廃材や家具を活用し自分たちの手で作れる、直せることを共有するためのDIY教室を随時開催。 また図書利用と、展示利用ができる場所として、発展させることで、イベント以外に日常的に立ち寄れる場所を目指していく。</p>	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	～学校に行きにくい児童生徒へいろいろな機会を与える～はじめの一步！		
団体名	特定非営利活動法人フリースペースかんの		
助成区分	スタート支援部門	助成金額	105,026 円

事業の目的・内容	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなワークショップを企画し、興味関心のあることを見つけるきっかけづくりをする。 ・地域の人々の力で学校に行きにくい児童生徒を支える。 ・学校へ登校できなくて悩んでいる児童生徒やその保護者には学校に行かなくても家庭で興味関心のあることを勉強したり、フリースクールに顔を出したり、学校に行かなくてもいい選択肢もあることを知ってもらい、少しでも気持ちが楽になるようにしていく。
	内容	<p>フリースペースかんに新しく、相談室兼学習室を新設し、いつ不登校の児童生徒が来ても対応できるような環境を作った。そして、事務所を設置しているカフェも1週間に1度オープンスペースを設け、自由に使えるようにした。また、様々なワークショップを企画し、興味のある企画には一般募集の前に応募できるように、小中学校を通して年間計画を配布してもらった。</p>

活動実績	<p>A：フリースペースかんの利用人数（令和4年9月1日～令和5年3月8日） 相談件数…12家庭、21回、44名</p> <p>B：フリースペースかんの企画に参加した人数99名（不登校児童&保護者17名）</p> <p>① 和～輪～W0w かんのを知ろう（令和4年12月5日、加納自治会館） 参加者30名（不登校児童&保護者8名）スタッフ20名（元不登校3名）</p> <p>② サックス4重奏&ストレッチ（令和5年2月26日、加納自治会館） 参加者43名（不登校児童&保護者6名）、スタッフ6名</p> <p>C：コミュニティハウス八丁目の参加した人数 4回のワークショップ（パン教室2回、樹脂粘土教室1回、魚捌き教室1回） 参加者21名（不登校児童&保護者5名）</p> <p>◎東大阪登校拒否を考える会への参加 3回</p> <p>①～③合計164名（不登校児童保護者66名）</p>
------	---

目 標	<申請時> 50人 (令和4年7月1日 ～令和5年3月31日)	<事業実施後> 164人 (令和4年7月1日 ～令和5年3月31日)
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースかんのの事務所のあるカフェを木曜日にオープンスペースにし、学校に行きにくい児童生徒の相談を受けたり、学習をしたり、料理を作ったりすることができた。 ・一人で来にくい児童生徒は、カフェを貸し切りにし、家庭と同じような状況の中、晩御飯を一緒に食べて、リラックスしていろいろな話げできた。 ・2度実施し、今でも定期的に連絡をしている。 ・いろいろなワークショップを安く企画することができ、地域の自治会館を借りることで、地域の人々にも認知され始め、次回以降の参加希望者も増えている。 	
今 後 の 事 業 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな不登校関係のグループと交流し、活動の幅を広げていきたい。 ・保護者交流会を開催し、保護者が悩みを打ち明けれるような場面を作り、少しでも気持ちが楽になるようにする。 ・学校に行きにくい高校生にも対象にしていく ・地域の人々の持っている特技を活かし、フリースペースかんのの講座を増やし、不登校児童生徒が選べる内容を増やしていく。反対に不登校児童生徒の得意な分野(料理、携帯・パソコンの扱いなど)を發揮し、地域の人々に還元し交流することによって、児童生徒の自己肯定感を高める。 	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	夢ワークショップと発表大会の実施		
団体名	東大阪中小企業会長倶楽部		
助成区分	スタート支援 部門	助成金額	78,197 円

事業の目的・内容	目的	人生百年時代を迎えて、夢とその実現は欠くことにできない要素である。最初は個人的なもので終わる夢でもよい。次の夢を描く原動力となり、その中には地域課題や社会課題が期待される。夢の実現のためには経験豊かな会長倶楽部メンバーと関係者が適宜助言し、サポートする仕組みを構築（「伝言板」）。
	内容	市内学校や中小企業に呼び掛けてワークショップを実施。夢（やりたいこと）を書きだして、話し合い、発表した。実現サポートのためのアドバイスを会長倶楽部等のメンバーに求め、夢と助言の一覧表「伝言板」を作成した。地域課題や社会課題を実現する可能性をもつものに絞り、発表大会を実施、参加賞を贈呈する。

活動実績	<p>① 夢ワークショップの実施 5月18日会長倶楽部と関係者24名、8月24日城東工科城工房5名 11月26日野田金属工業、12月17日城東工科高校城工房OB、12月23日河内木綿はたおり工房15名 計74名</p> <p>② 懇談会 9月8日伝言板の検討（会長倶楽部で意見交換）、10月22日城東工科5名、12月8日会長倶楽部関係者12名、河内木綿はたおり工房15名</p> <p>③ 夢スピーチコンテストへの推薦 一社）青少年夢応援隊実施のコンテストは9月締切で現在推薦案件無</p> <p>④ 夢発表大会 地域課題や社会課題に関連するものは少なく、実施段階に至らず。</p> <p>⑤ ワorkshop参加者へのアンケート実施 会長倶楽部除く50名対象の全般的感想は82%が良かったという結果</p>
------	--

目 標	<p><申請時> ワークショップ 150 名</p>	<p><事業実施後> ワークショップ 74 名</p>
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>ワークショップ参加者の数が少なく、城工房 OB と共に参加予定の企業がコロナ禍のために 2 名となった。また大商大バスケットチーム 50 名も試合日程と外部関係者の立ち入りがなかなかできない等の理由で実施不可能となった。満足しており、アンケート結果によれば概ね高い評価を得た。その上、某小学校では現場の先生方は参加してみようという空気があるのに、管理者の反対で中止になった案件も生じた。しかし参加者の多くは満足しており、アンケート結果によれば概ね高い評価を得た。</p> <p>また、夢と助言を一覧化した伝言版は夢の内容が個人的なものが多く、地域課題や社会課題が少なくもう少しワークショップを重ねる必要がある。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>令和 5 年度より新教育振興基本計画が出てくるが、その中にウェルビーイング（生き生きとした生き方）がうたわれている。今後は夢ワークショップのような活動が注目される筈である。</p> <p>また、中小企業においても健康経営が叫ばれている中で、心の健康を目指す動きもあり、更には大企業を中心に令和 5 年度より人的資産経営に関する情報開示が義務化される。この様な中で夢ワークショップのような内容のものが企業の中で注目されるのではないかと、密かに期待している。</p> <p>このように追い風が吹こうとしている中で、既実施の団体から要請があればフォローし、新たな実施希望者には、今後独自に会長倶楽部として当事業を継続していきたい。幸い、倶楽部役員の中の一人が厚労省国家資格キャリアコンサルタントの資格を持っており、この資格の他に NPO 法人夢検定協会より夢検定実施のインストラクターを取得したことは大きな力となる。</p>	

写真添付



<会長倶楽部と関係者> 4.5.18

<河内木綿はたおり工房> 4.12. 23

令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

事業名	親と子どもをサポートする地域の子育てコミュニティ作り		
団体名	ハニカム東大阪		
助成区分	チャレンジ 部門	助成金額	532,000 円

事業の目的・内容	目的	自分の育った市区町村以外で子育てをしている割合は7割以上。子育て家庭の流動性が高い上、近年コロナ渦により益々子育て世代の孤立が顕著。子育て世代を支援し、親同士だけでなく多種多様な人をつなぐ場を提供することで、東大阪を子育て世代が楽しく生き生きと暮らせる街とする。
	内容	『交流会』、『講座』、『イベント』を主とする。まずは、拠点である河内花園を中心に広報し、徐々に東大阪市の子育て世代への認知を広める。交流会では親同士とのつながりや楽しむ場の提供、講座では、趣味や問題意識の共有、イベントではそれらが一堂に集まり、『産、官、民』を横断する繋がりを得る場の提供を目指す

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会（全41回）：河内花園のレンタルスペースえがお様にて子育て世代に気軽に利用していただける交流会を計画よりも多く開催ができた。147名の方に利用していただきました。 ・講座（全7回）：インスタグラムやCanvaといった技術的なものから、アロマワーク、食育、リトミックといったママや親子に特化した内容を実施。32名に参加していただきました。 ・イベント（全4回） ①はなぞの祭（えがお）：子ども向けブースと親向けお悩み相談とリラックスマーブス、全8ブースを設けた。 ②子ども店長企画（えがお）：店員もお客さんも子どもの企画。親御さんと一緒に子ども店長に挑戦。遊ぶだけの一般参加としての来場も可能。 ③第3回むすんでひらく文化祭（布施）：ふわふわ遊具設置。『産・学・民』を1つの場所に集めることができたイベント。 ④第4回むすんでひらく文化祭（石切）：石切神社周辺のご協力もいただいた家族向けの地域活性イベント。同じ助成金団体様ともコラボ。
------	---

目 標	<申請時> 子育て世代の孤独を防ぐ、 コミュニティを創設。	<事業実施後> 子育て世代を含む全世代を対象とし、 縁が繋がっていくコミュニティ創設と 地域活性のお手伝い。
事 業 の 成 果 ・ 効 果	<p>実際に母親である私たちが主体的となり活動してことで地域に活力を与え、母親同士が支え合い、楽しめる環境を提供できたと思っています。多くの参加者様に『来てよかった、また参加します』『知り合いがふえました』などのお声をたくさんいただくことができ嬉しい限りです。【顔見知りになれた】【仕事やコラボに発展した】等、その場だけの関係ではなく、この先も続いていく縁を繋ぐことができたことが私たちにとっての大きな役割だったのではないかと考えています。また、同じ助成金団体様と関わることで、市民に「こんな団体があって、頼れる先があるんだ！」と知っていただく良い機会にもなりました。反省点としては、マンパワーの関係から行政様にイベント出店のご依頼ができなかったこと、目標であったイベントのパッケージ販売まではたどりつけなかったことがございます。しかし、企業様からリサーチ業務などのお仕事を3件いただき、資金源とすることができました。（新製品のお菓子についてのママ目線の意見、クラウドファンディングのシナリオ作成、SDGsの絵本作成）。</p>	
今 後 の 事 業 展 開	<p>この1年で様々な繋がりを持つことができたため、他市の方からお声がかかったり、すでに関係のあった企業様からコラボのご提案があったりと、今後は東大阪市だけでなく八尾市や大東市でも活動していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会や講座は「みせるばやお」様にて不定期開催。 ・イベントは様々な場所で開催しながら横のつながりを生み出していきます。 ・企業様との連携を収入源とします。現在、大東市の企業様より「街イベントの企画運営」「地元企業の課題解決プログラム」、「大東市北条付近の空き店舗、施設開発」にご参加いただけませんかのご依頼をいただいているところです。 ・ゲームコーナーとしてイベントに出店。（22年は13回の出店を経験） ・近畿大学の学生様と一緒に『人物図鑑』を作成中。私たちと関わってくれている方の「できること」を見える化し、お悩み相談窓口（仮）を開設。いただいた相談から適切な方に繋ぐことのできる人財紹介システムの構築を目指します。こちらにすでに興味をもっていただいている企業様がいらっしゃるのので、今後、一緒に活動していく予定となっています。 	



令和4年度 地域まちづくり活動助成金 活動成果概要

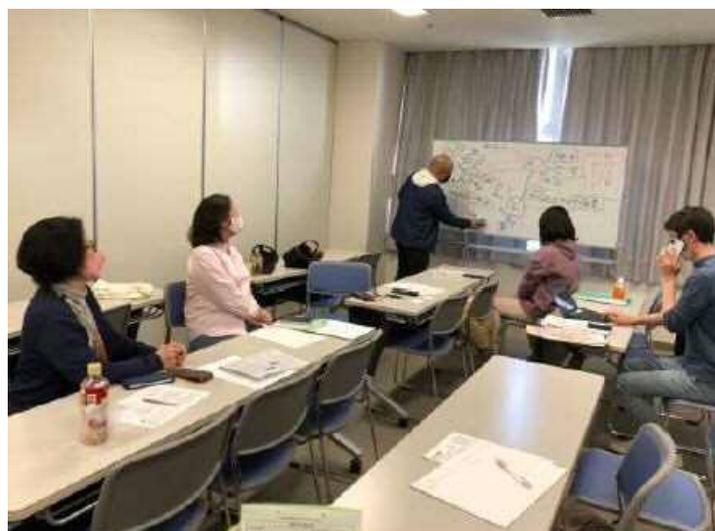
事業名	若年性認知症や高次脳機能障害の当事者とその家族、ヤングケアラーを支える新たな 地域ネットワーク構築事業		
団体名	社会資源開発研究会		
助成区分	事業チャレンジ部門	助成金額	281,000 円

事業の目的・内容	目的	若年性認知症や高次脳機能障害の当事者とその家族、ヤングケアラーを支援するため、居場所づくりや地域での支援ネットワーク構築していく
	内容	<p>講演会を主としながら、居場所づくりとして定期的な当事者交流会を実施する。</p> <p>1. 定期的に、地域での交流や社会参加が促される場をつくっていく。当事者、家族、支援者交流会 毎月第3土曜日 午後1時～4時まで若年性認知症や高次脳機能障害の当事者や、介護に悩んでいる家族などが、交流し、悩みなどを共感できる場所をつくっていく。</p> <p>2. 一般市民を対象に講演会を実施していく。</p> <p>若年性認知症、高次脳機能障害、介護者の支援をテーマとする。</p>

活動実績	<p>令和4年9月より毎月第3土曜日に、高次脳機能障害・若年性認知症の当事者・家族・支援者の交流会をルタンティールにて実施。交流会では以下のように内容で行っている。</p> <p>9月17日 講師：高次脳機能障害当事者会「え～わの会」代表 松永裕介 「高次脳機能障害で当事者が困っていること」について 参加者 12名</p> <p>10月15日 講師：言語聴覚士 土屋笹奈氏 「失語症の基礎理解」参加者 10名</p> <p>11月19日 講師：ケアマネジャー 貴島孝浩 「高齢者サービス」参加者 12名</p> <p>12月17日 定例交流会（内部講師 社会福祉士 奥田真）参加者 10名</p> <p>1月20日 定例交流会（内部講師 ケアマネジャー伊藤節子）参加者 10名</p> <p>2月17日 定例交流会（内部講師 ケアマネジャー 岡本美弥子）参加者 12名</p> <p>3月17日 講師：全国若年性認知症連絡協議会 宮永和夫先生 参加者 12名</p> <p>市民を対象にした啓発講演会 東大阪商工会議所にて以下の通り開催する。</p> <p>12月17日 高次脳機能障害について学ぶための講演会を実施 参加者 44名 講師：李クリニック 言語聴覚士 李彩織 講師：東大阪市社会福祉事業団 支援員 瓜生彩子</p> <p>3月4日 高次脳機能障害の理解について講演会を実施 参加者 56名 講師：高次脳機能障害当事者会「え～わの会」代表 松永裕介 講師：李クリニック 医師 李利彦</p>
------	--

目 標	<申請時> 高次脳機能障害・若年性認知症の方の支援ネットワーク構築	<事業実施後> 講演会や交流会を通じて、当事者団体との連携などの、支援の輪が広がった
事業の成果・効果	この事業を実施し得られたこととして、 ①なかなか理解されにくいといわれている若年性認知症や高次脳障害の理解が一般市民に促された。 ②福祉専門職の学びが深まり、そのような症状や障害がある方への支援の充実につながった。 ③講演会を通じて、地域に支援のネットワークを作るきっかけとなり、困難を抱えた方が地域で孤立しないように、地域の共助へとつながった。 また、アンケートでは、「介護保険と障害福祉などどのサービスを活用したらいいのかわからなかったが、今回の話を聞いて、よくわかった」、「若年性認知症は当事者だけでなく、家族の支援も大切であることがよくわかった」、「地域で支えていかなければならない。気軽にお互いが話し合う場所が大切と感じた」などの意見をうかがえた。今回、成果として、専門としている医師だけでなく、当事者に登壇頂くことで、生活する上で、実際に困っていることや社会参加を進める上で考えてほしいことなどを、地域で学ぶ機会となったと考える。 この取り組みから、地域で困難を抱える方が地域の中でお互い支えるような仕組みをつくることができ、今後も団体とし継続して取り組む基礎を作ることができた。	
今後の事業展開	今後も、高次脳機能障害や若年性認知症・家族が地域で孤立しないように定期的に交流理解する場を毎月1回以上、継続して設けていく。加えて、啓発講演会を定期的に実施し、当事者に登壇していただくことや、医師や福祉専門職の方に基礎的理解について説明していただくことを通じて、市民に幅広く、この障害や病気に理解を促していく。また、福祉団体や当事者会と一緒にイベントを開催するなど協働していく。また、参加費を500円、徴収することで、継続して活動できるようにしていきたい	

*活動内容がわかる写真を添付してください。



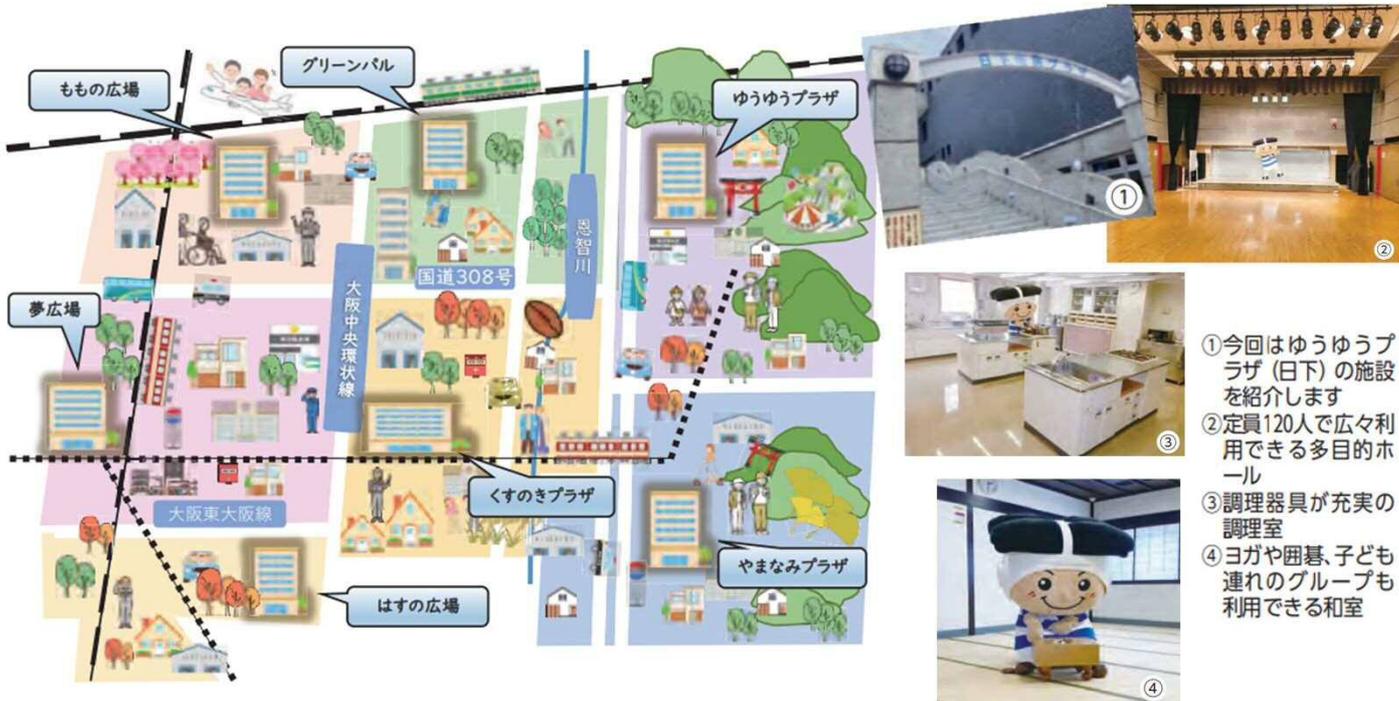
気軽にご利用ください!

市民プラザってどんなところ?



市民プラザウェブサイト
利用料金等はこちらから
ご確認ください。

市民プラザは市内7か所（日下・四条・中鴻池・若江岩田・楠根・布施・近江堂）にあり、地域活動拠点として整備された施設です。会議室や大人数を収容することが多目的ホール、和室、茶室、音楽室、料理室等があります。Wi-Fi環境を完備しており、オンライン講座や動画配信等のインターネット環境を利用した活動をすることもできます。令和5年2月からはインターネットで施設の予約をすることが出来るようになり、より利用しやすくなりました。活動会場や打ち合わせ、準備等で是非ご利用ください。



- ①今回はゆうゆうプラザ（日下）の施設を紹介します
- ②定員120人で広々利用できる多目的ホール
- ③調理器具が充実の調理室
- ④ヨガや囲碁、子ども連れのグループも利用できる和室

市民プラザ一覧

施設名	所在地	電話番号	開館時間	休館日
ゆうゆうプラザ(日下)	日下町 3-1-7	072 (986) 9284	9時～ 21時30分	第2・4木曜日、年末年始
やまなみプラザ(四条)	南四条町 1-7	072 (988) 3113		第1・3水曜日、年末年始
グリーンパル(中鴻池)	中鴻池町 2-3-13	06 (6747) 1592		第1・3木曜日、年末年始
くすのきプラザ (若江岩田駅前)	岩田町 4-3-22 希来里 5階	072 (967) 6575		第2・4水曜日、年末年始
ももの広場(楠根)	楠根 1-12-12	06 (6745) 9147		第1・3水曜日、年末年始
夢広場(布施駅前)	長堂 1-8-37ヴェル ノール布施 5階	06 (6784) 2018		第2・4水曜日、年末年始
はすの広場(近江堂)	近江堂 3-12-15	06 (6730) 0840		第2・4木曜日、年末年始

講座やイベントも開催

市民プラザでは、講座やイベントも開催しています。詳しくは公式InstagramやTwitterをご覧ください（下のコードからそれぞれアクセス可）。



Instagram



Twitter

東大阪市役所 市民生活部
地域活動支援室(市役所5階)
 〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号
 電話 06-4309-3161 FAX 06-4309-3812
 Email machi-joseikin@city.higashiosaka.lg.jp